

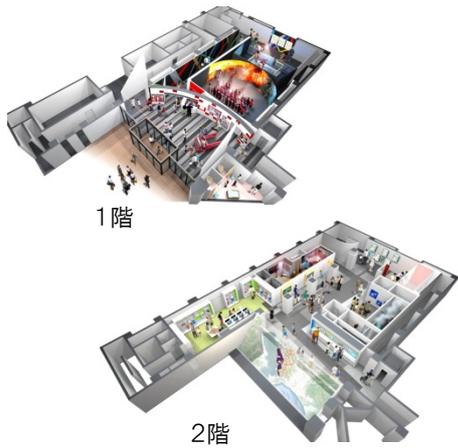
横浜市民防災センター再整備事業について

1 再整備概要

災害による被害を最小限に抑えるために重要となる自助・共助を促進するため、市内唯一の体験型防災学習施設である横浜市民防災センターを、自助・共助意識の啓発とその行動を起こすことができる人、地域防災の担い手を育成する、本市の中核施設となるよう機能強化を図ります。

自助エリア

自助行動を中心に、減災行動の必要性に気づき、学ぶ。



1階

2階

- 災害シアター
過去の災害に学び、大地震が横浜で起きた場合を想定した、ストーリー性のある映像で備えの重要性を認識
- 地震シミュレーター
3次元振動、映像、音響の組合せで、震度階ごとの揺れや長周期地震動などを体験
- 減災トレーニングルーム
地震、風水害、火災発生から避難までの流れを体験

※このほか、「横浜ハザードマップ」、「火災シミュレーター」などもあります。





共助エリア

訓練室や隣接する公園の大空間を活用して、共助を学ぶ。

- ・避難所の運営や救出・救護、要援護者支援などの体験
- ・実際の炎を体感しながら行う消火訓練
- ・毛布担架や紙食器づくりなどの各種ワークショップ
- ・地域防災拠点の資機材取扱いや仮設トイレ設営等の訓練

- 避難所運営体験
- 消火訓練




専門エリア

より専門的な研修等による知識の習得

- ・災害図上訓練など、防災担当者等を対象とした研修会
- ・専門家等による防災の指導者のためのセミナー

- 災害図上訓練（Dig）
- 専門家によるセミナー




2 再整備工事の状況

本年度5月から工事を開始し、地震体験装置の基礎、空調、電気、トイレ設備などの建築関係工事が概ね完了し、現在は、体験施設や展示物等の設置工事を進めています。

■ 工事スケジュール

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
← 撤去工事 →		← 展示室（基礎・電気・空調等）工事 →					← 展示物搬入・組立・設置工事 →			← 完成検査 →
← 施工図面作成 →		← 展示物製作（工場作業） →								
		← 訓練室（天井・床）工事 →							← 研修室工事 →	

（裏面あり）

3 来場促進に向けた取組

年間 10 万人以上の来場目標達成に向け、総務局など、関係局と連携し、関係団体への説明・来場勧誘を行っています。

また、区役所・消防署を通じて、自治会町内会、市立小・中・高・特別支援学校など、各種団体への直接的な広報を行うとともに、来場についての具体的な調整及び施設運営の準備を進めています。

「広報及び調整等を実施している各種団体」

自治会町内会、市立小・中・高・特別支援学校、私立学校会、県立高校会、横浜市幼稚園協会（保育園含む）、横浜商工会議所（産業防災連絡会議）、市社会福祉協議会、災害ボランティアネットワーク、PTA関係団体、横浜市医師会、横浜市病院協会、看護専門学校関係、青少年活動団体（ボーイスカウト横浜市連合会、ガールスカウト横浜市連絡協議会、横浜海洋少年団、横浜市健民少年団、横浜市子ども会連絡協議会、横浜市学童保育連絡協議会）など

なお、一般向け来場予約受付についても、12月11日(金) 10時から開始しますので、テレビや、車内広告、地域情報誌など、各種の広報媒体を活用し、より幅広く来場を促していきます。

「参考：再整備工事の状況」



エントランス部分



災害シアター内部



地震体験装置部分



煙体験装置